

市立大町山岳博物館創立60周年協賛事業

ばん りゅう

播隆フォーラム

—— 槍ヶ岳の初登頂を問う ——

■日時 平成23年6月26日(日) 午後1時30分～4時

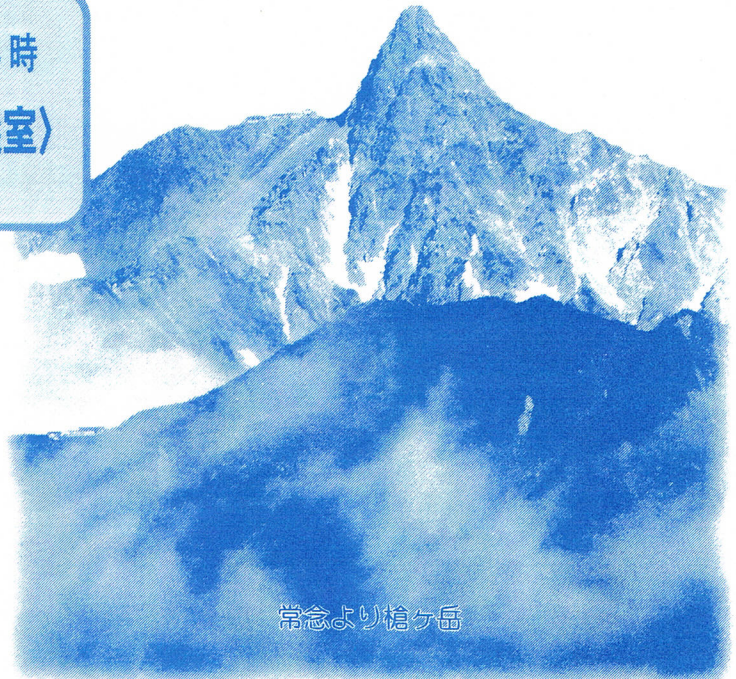
■会場 サン・アルプス大町 2F(大会議室)

長野県大町市大町1601-2 TEL 0261-22-8989

播隆の槍ヶ岳登山は、文政9年(1826)、同11年、天保4年(1833)、同5年、同6年、の5回といわれている。それは近代的な登山とは異なり、山頂近くに長期滞在して行われる山籠修行、登拝信仰であった。

戦後、2回目の登拝のときに初登頂、開山が成されたといわれ始めた(穂苅説)。近年になって1回目のときに初登頂、2回目のときに開山、4回目のときに開闢されたとする説が登場した(黒野説)。

今回の播隆フォーラムでは、播隆の槍ヶ岳初登頂にスポットをあて、両説を討議、検証する。



常念より槍ヶ岳

プログラム

1部 【基調報告】

- ・穂苅説について 布川 欣一 (登山史研究家)
- ・黒野説について 黒野こうき (ネットワーク播隆・代表)

2部 【パネルディスカッション】

- パネラー
- ・栗谷本 真 (岐阜県御嵩町「中山道みたけ館」)
 - ・高橋 順之 (滋賀県米原氏「伊吹山文化資料館」)
 - ・可児 光生 (岐阜県美濃加茂市「美濃加茂市民ミュージアム」)
 - ・関 悟志 (長野県大町市「大町山岳博物館」)
- 進行
- ・清水 隆寿 (長野県大町市「大町山岳博物館」)

入場
無料

◎主 催 ネットワーク播隆
◎共 催 大町市教育委員会・市立大町山岳博物館
◎問い合わせ先 ネットワーク播隆 TEL 058-383-8770
市立大町山岳博物館 TEL 0261-22-0211